

平成26年度 学部卒業生フォローアップ調査結果

〈調査概要〉

目的：寄せられた意見を今後の広島大学の教育・研究の改善に活かし、優れた人材育成に繋げていく。

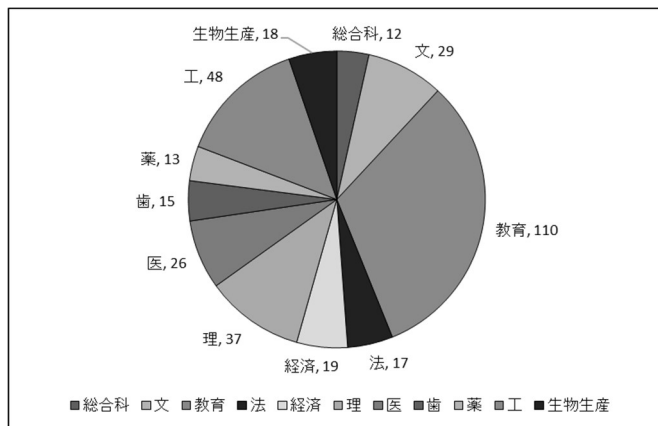
対象：平成26（2014）年度学部卒業生

方法：入学時の家族住所あて調査票を送付し本学あて返送またはWeb回答。

期間：令和2年12月27日～令和3年2月28日

状況：発送数2,407、未達数185、回収数344（用紙116、Web228）、有効数344、回収率14.29%（前年度回収率13.83%）

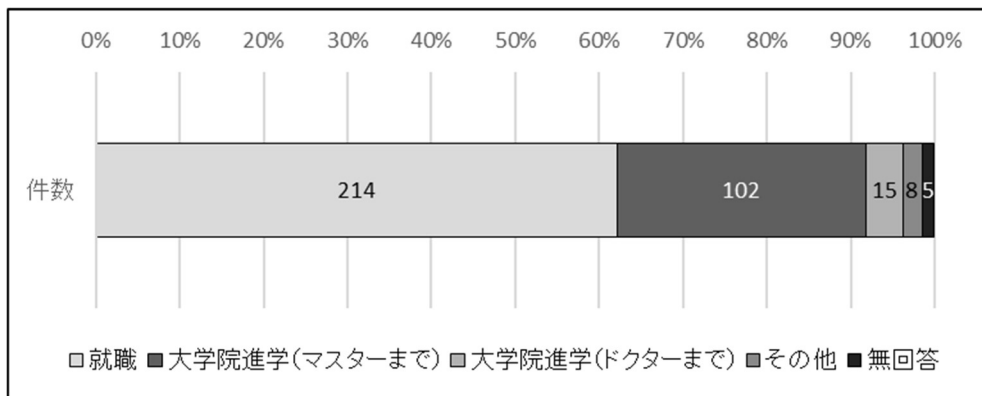
内訳：総合科学部12、文学部29、教育学部110、法学部17、経済学部19、理学部37、医学部26、歯学部15、薬学部13、工学部48、生物生産学部18、無回答0



〈調査結果〉

【質問】4. 学部卒業後の進路

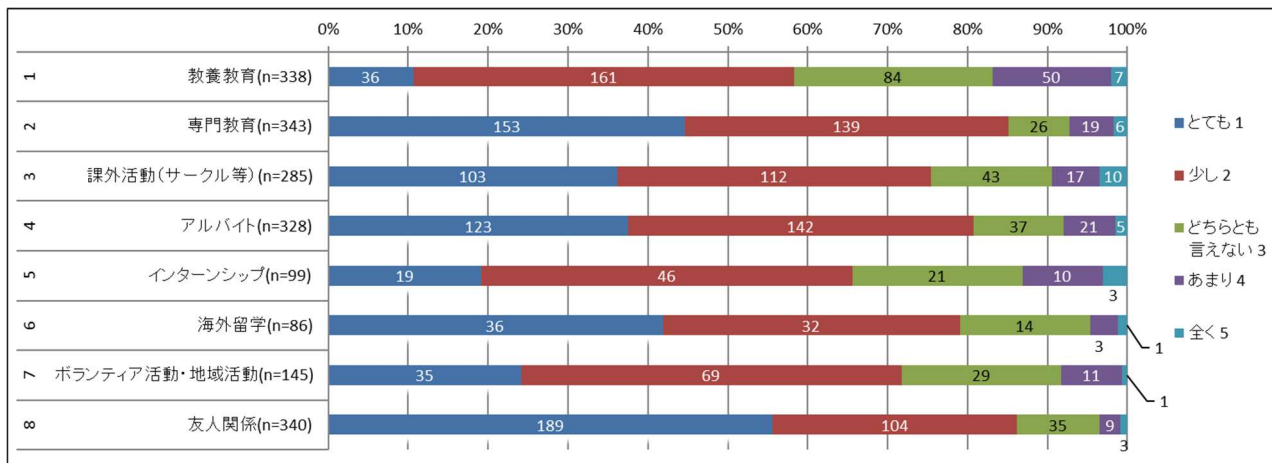
1. 就職, 2. 大学院進学（マスターまで）, 3. 大学院進学（ドクターまで）, 4. その他



【質問】 5. 大学生生活全般の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 教養教育, 2. 専門教育, 3. 課外活動（サークル等）, 4. アルバイト, 5. インターンシップ, 6. 海外留学, 7. ボランティア活動・地域活動, 8. 友人関係

【結果】 ※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。「該当しない」及び「無回答」は除く。



最も評価が高い項目は、「8. 友人関係」で、次いで「2. 専門教育」、「4. アルバイト」、「6. 海外留学」の順であった。

今回、記述の中にも「8. 友人関係」の大切さを記した内容が多くみられた。特に「コロナ禍」という特殊な事情があった為とみられる。人との繋がりが制限された中で、学生時代の友人との交友が精神的な支えになったという意見も散見された。

「2. 専門教育」については、就職先が専門的な知識・技術を必要としている企業が多かったためと推察できる。「4. アルバイト」については、社会人になった後の人間関係の構築や仕事を上手く遂行する事に役立っているという意見がみられた。「6. 海外留学」については、「学生のうちに様々な経験をしておいた方が良い」というアドバイスの観点から述べられている事が多かった。

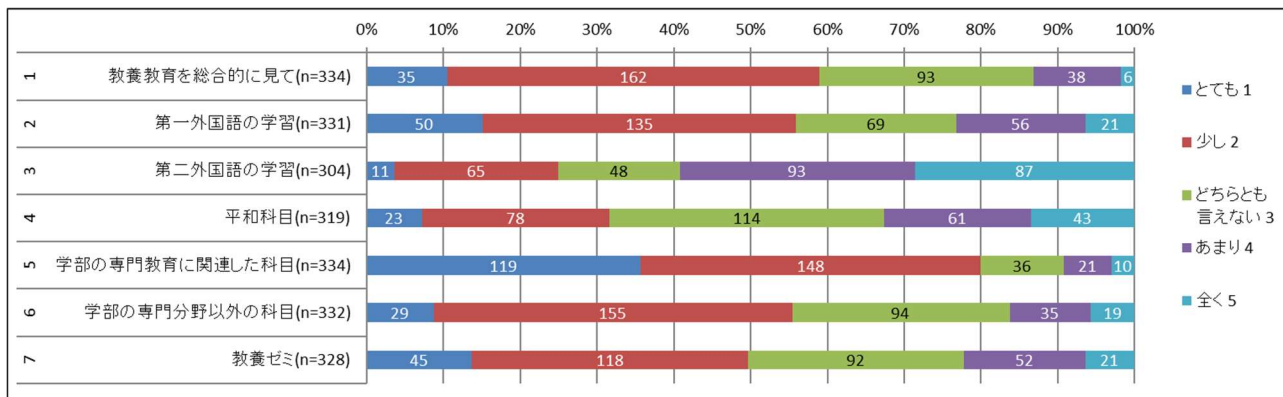
「2. 専門教育」、「6. 海外留学」で培った専門的な知識も役立つが、それに加えて学生のうちに社会に触れる経験が後のコミュニケーション力の向上に重要だと思われる。

(6. 学士課程教育について)

【質問】(1) 教養教育の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 教養教育を総合的に見て、2. 第一外国語の学習、3. 第二外国語の学習、4. 平和科目、5. 学部の専門教育に関連した科目、6. 学部の専門分野以外の科目、7. 教養ゼミ

【結果】



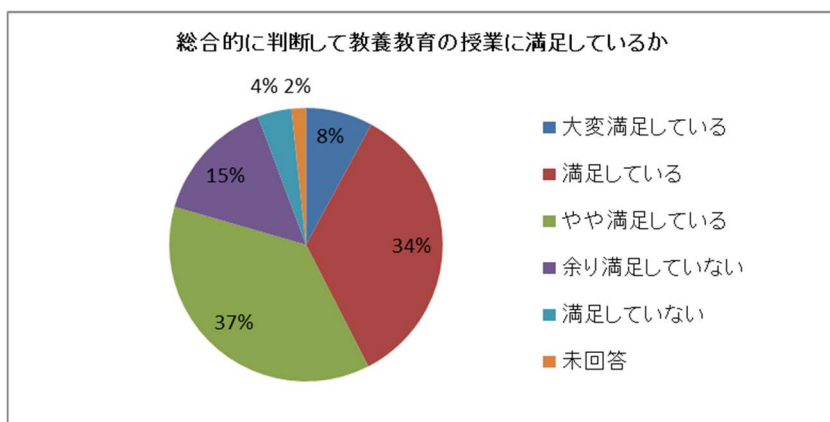
最も評価が高い項目は、「5. 学部の専門教育に関連した科目」で、次いで「1. 教養教育を総合的に見て」、そして「2. 第一外国語の学習」「6. 学部の専門分野以外の科目」の順であった。

「5. 学部の専門教育に関連した科目」は、全体的に役に立ったというよりは、知識の幅が広がったという意味で評価が高いようである。それと合わせて「1. 教養教育を総合的に見て」が高評価なのも同じ理由であり、更に学生時代は重要と捉えていなかったが社会に出て「もっと真剣に取り組んでおけば良かった」と後悔するような意見が多かった。「2. 第一外国語の学習」「6. 学部の専門分野以外の科目」は高評価ではあるものの活用できなかつたり後悔しているという意見が多かった。

総合的に見て、教養教育で学んだ事は知識の幅を広げるという面から役立っているという意見が多かった。

【参考】平成26年度卒業時アンケート結果『設問：総合的に判断して教養教育の授業に満足しているか』

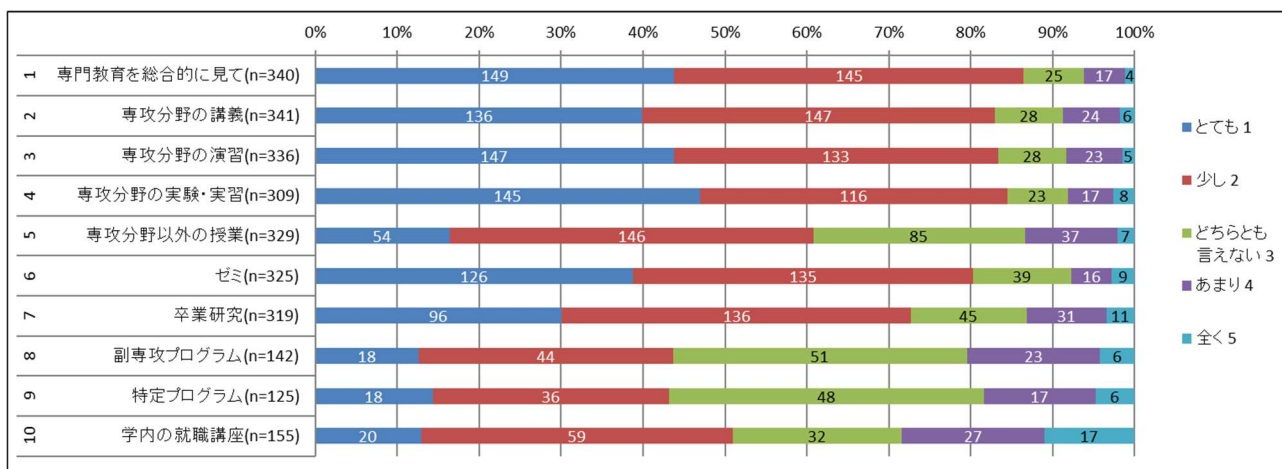
(「大変満足している・満足している・やや満足している」の割合 80.9% (1254/ 1551名))



【質問】(2) 専門教育の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 専門教育を総合的に見て、2. 専攻分野の講義、3. 専攻分野の演習、4. 専攻分野の実験・実習、5. 専攻分野以外の授業、6. ゼミ、7. 卒業研究、8. 副専攻プログラム、9. 特定プログラム、10. 学内の就職講座

【結果】



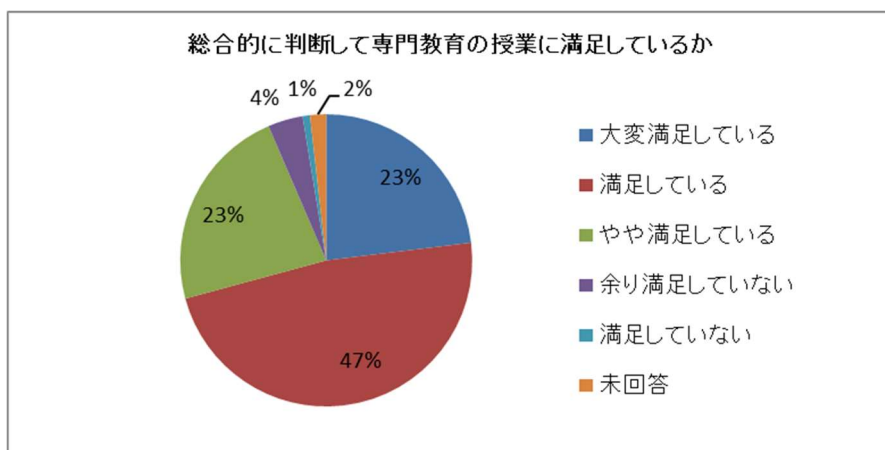
最も評価が高い項目は、「1. 専門教育を総合的に見て」で、次いで「4. 専攻分野の実験・実習」、「3. 専攻分野の演習」、「2. 専攻分野の講義」「6. ゼミ」の順であった。

「3. 専攻分野の演習」、「4. 専攻分野の実験・実習」については、専門的な知識・技術・経験が社会に出てすぐ活かしているという意見が多かった。在学中は内容が厳しく苦痛に感じていたが、逆に社会に出てそれが必要なことであったと実感できる人が多いようだ。

他の項目についても同様で、専門的な学習に付随する事（パソコン操作や計画立案など）も良い経験となり、活かしているようである。

【参考】平成26年度卒業時アンケート結果『設問：総合的に判断して専門教育の授業に満足しているか』

(「大変満足している・満足している・やや満足している」の割合 95.2% (1476/1550名))

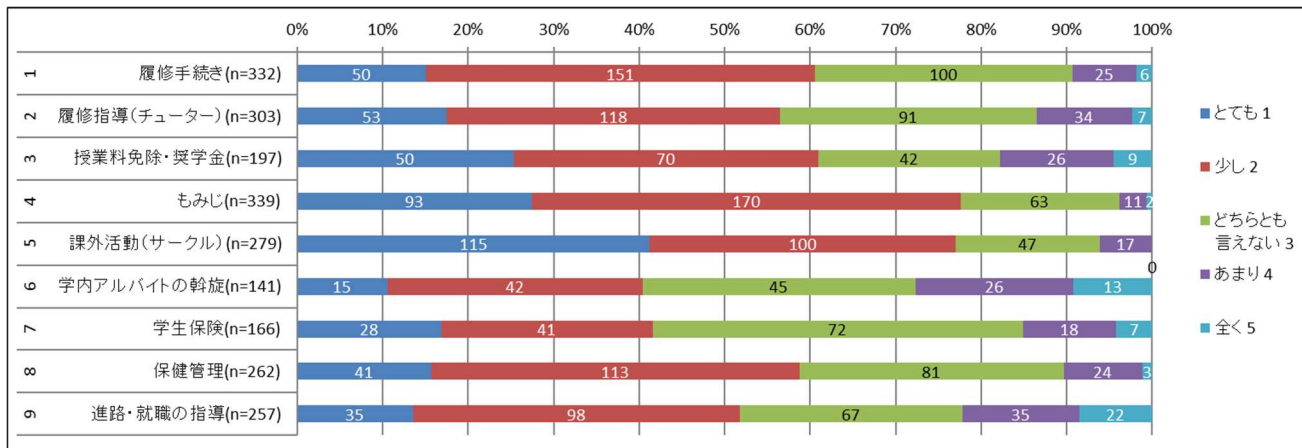


(7. 学生支援について)

【質問】 学生対応・支援で下の項目はどの程度、充実していましたか？

1. 履修手続き, 2. 履修指導, 3. 授業料免除・奨学金, 4. もみじ, 5. 課外活動 (サークル), 6. 学内アルバイトの斡旋, 7. 学生保険, 8. 保健管理, 9. 進路・就職の指導

【結果】



最も評価が高い項目は「4. もみじ」で、次いで「5. 課外活動 (サークル)」が高く、それ以降は「3. 授業料免除・奨学金」「1. 履修手続き」「8. 保健管理」「2. 履修指導 (チューター)」の順であった。

「4. もみじ」については、「活用した」学生と「活用しなかった」学生で評価が分かれているようである。積極的に活用することで「充実した学生生活を送れた」と実感している卒業生が多かった。一方、サイトが見つらく利用頻度が下がり、活用できなかったため改善を希望する意見が見られた。「5. 課外活動 (サークル)」については、履修のアドバイスや奨学金・就職などの情報交換にも大いに役立てたという意見が多かった。

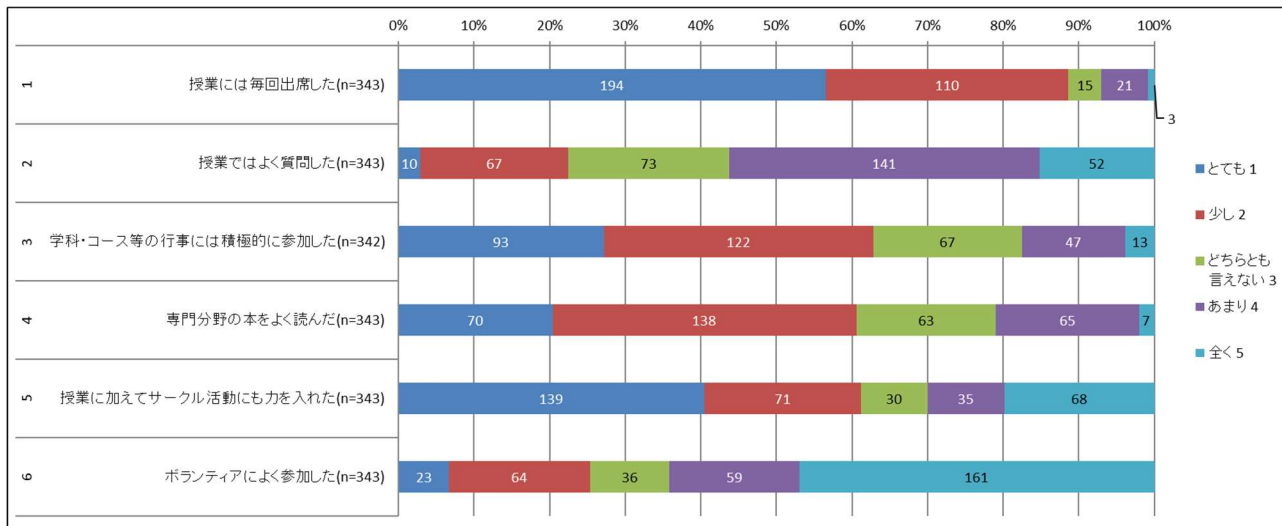
それ以外、奨学金や授業料免除、怪我や履修の際に指導を受け好印象な意見が多かった。それらを享受できなかった学生からの不満の意見もあったが、全体的には「助かった」や「わかりやすかった」という意見にまとまっていた。

(8. 学生生活について)

【質問】(1) 下のような各項目は、学生時代のあなたにどの程度あてはまりますか？

1. 授業には毎回出席した
2. 授業ではよく質問した
3. 学科・コース等の行事には積極的に参加した
4. 専門分野の本をよく読んだ
5. 授業に加えてサークル活動にも力を入れた
6. ボランティアによく参加した

【結果】



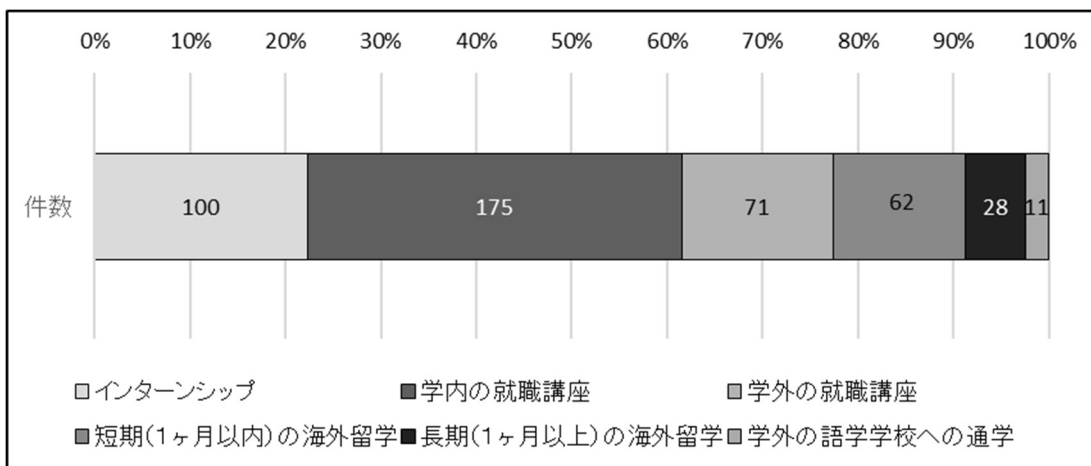
最も評価が高い項目は、「1. 授業には毎回出席した」で、次いで「3. 学科・コース等の行事には積極的に参加した」、「5. 授業に加えてサークル活動にも力を入れた」、「4. 専門分野の本をよく読んだ」の順であった。

「1. 授業には毎回出席した」が圧倒的に多かったが、「真面目に出席した」や「友人に会いに」という意見の中に、「娯楽がない」と悲観する内容も多く見られた。結果的にはそれらが「1. 授業には毎回出席した」を高い評価にする要因にもなっていると思われる。

全体的には、学生生活に関連する自分自身の様々な取り組みに満足しており、もっと頑張りがかったというような意見が多かった。

【質問】(2) あなたは次のような活動に参加しましたか。(複数回答可)

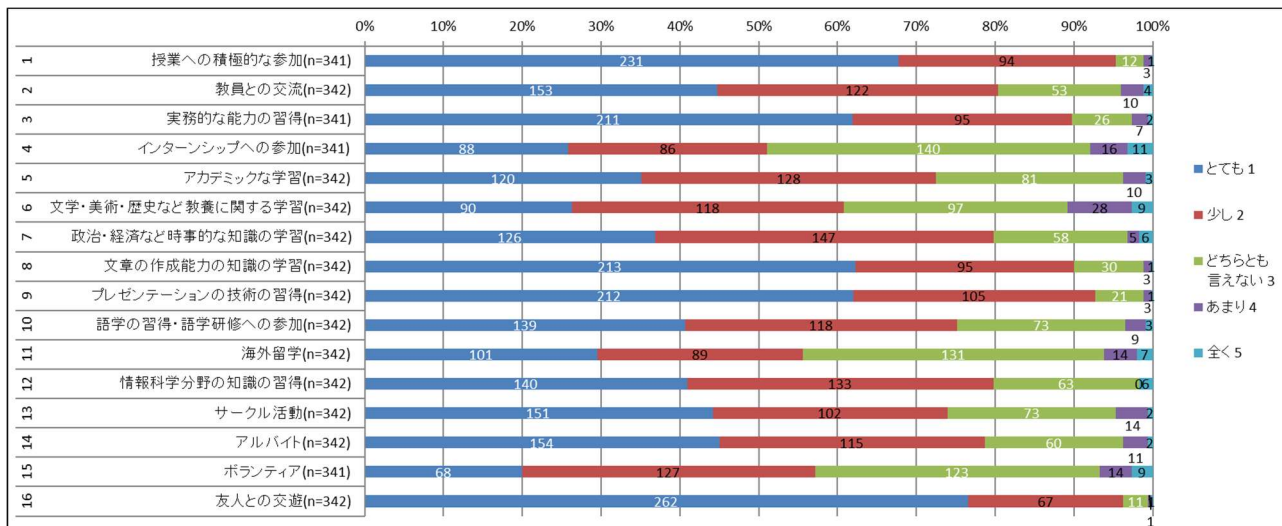
1. インターンシップ
2. 学内の就職講座
3. 学外の就職講座
4. 短期(1ヶ月以内)の海外留学
5. 長期(1ヶ月以上)の海外留学
6. 学外の語学学校への通学



【質問】(3) あなたが現在の学生にアドバイスするとしたら、次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。

1. 授業への積極的な参加
2. 教員との交流
3. 実務的な能力の習得
4. インターンシップへの参加
5. アカデミックな学習
6. 文学・美術・歴史など教養に関する学習
7. 政治・経済などの時事的な知識の学習
8. 文章の作成能力の知識の学習
9. プレゼンテーションの技術の習得
10. 語学の習得・語学研修への参加
11. 海外留学
12. 情報科学分野の知識の習得
13. サークル活動
14. アルバイト
15. ボランティア
16. 友人との交遊

【結果】



最も評価が高い項目は、「16. 友人との交遊」で、次いで「1. 授業への積極的な参加」、「9. プレゼンテーションの技術の習得」、「8. 文章の作成能力の知識の学習」、「3. 実務的な能力の習得」の順であった。

最も高評価の「16. 友人との交遊」の補足になるが、最も多い意見が「人との繋がり」や「自分の居場所」について触れている内容だった。特に市外・県外から来る学生にとっては活動の幅や学内での居心地が友人の有無で大きく影響を受けるからだと推察できる。

「1. 授業への積極的な参加」、「3. 実務的な能力の習得」については、総合的に「将来の為」にもっと真面目に取り組んだり、積極的に知識を得る事をアドバイスする内容が多かった。

社会に出てすぐ活かせるかどうか、後の糧にできるかの重要性を実感した卒業生が多かったためにそのような意見が出たようだ。総合的には「学生のうちに」「時間がある間に」と、無駄のない学生生活を送るようにして欲しいという意見が多く見られた。